アルファロメオ江戸川
ALFA ROMEO EDOGAWA

Racing on

- 4th Stage -

バッテリーは一度上がってしまったら、再度充電してもフル充電は出来ないんですよ。

メンテナンス編スタートです

今回の記事からは日常のメンテナンスにフォーカスして、アルファロメオやFIATの特徴や弱点、そしてその最善の対処法や故障を事前に防ぐ為のメンテナンスを皆さまにお知らせ出来たらと思います。

さて、メンテナンス編の初回となる今回はバッテリーに焦点を当てようと思います。皆さんバッテリーに寿命がある事をご存じですか??

一般的にバッテリーの寿命は約2年と言われています。実は車検の期間よりもバッテリーの寿命の方が短いのです。

また、バッテリーの消耗は工場で車に取り付けをされた段階から始っています。したがって、ショールーム等で展示されている段階でもバッテリーは消耗していきます。特にアルファロメオやFIATは国産車と違い、イタリアで生産された段階で車両へバッテリーが装着されますので、遠く海を渡りお客様の元にお車が到着する頃には、消耗しきってしまう個体もしばしば見かけます。

一度上がってしまったバッテリーは再度充電してもフル充電する事は出来ません。したがって消耗が始まってしまったバッテリーは、いくら充電してもパフォーマンスの低下を止める事は出来ないのです。

バッテリーとオルタネーターの関係

皆さんは車にはオルタネーターという、発電機が積まれている事をご存じですか?実は車は走行中に使用する電力を自家発電しバッテリーを経由して使用する仕組みになっています。この際にバッテリーを充電する役割もになっています。

しかし、放電する事で弱ってしまったバッテリーでは十分に充電する事が出来ません。充電する力が弱いバッテリーですと、オルタネーターの負担が増加し最悪の場合オルタネーター自体が故障する原因にもなります。

近年の車は沢山の電気装置が搭載されて、バッテリーの消耗も厳しくなっています。特に寒い冬はバッテリーの消耗が大きくなるだけでなく、エアコンやヒーター等も使用する為、バッテリーへの負担はさらに大きくなります。バッテリーの突然死が一番多いのは実はこの季節なのです。特にスタート&ストップを装着した車両は専用のバッテリーを使用していますが、エンジン停止中にバッテリーからの電力供給を受けている為注意が必要です。

朝お仕事に出かける際やご家族でお出かけになる際など、エンジンをかけようとしたらセルモーターの回りが悪い…、なんて症状を感じられた事はありませんか?そんな症状がもしあったらそれはバッテリーが弱って来ています。症状が出ていなくても、この厳しい冬を乗り越えて弱っているバッテリーの健康診断を一度してみませんか?

フィアット・アルファロメオ江戸川では診断機を使って簡単にバッテリーの健康診断が可能です。春のドライブシーズンに向けてぜひ一度、バッテリーの健康診断にお越しください。絶好のドライブシーズンを安心、快適に迎えましょう!

詳しいお話しはお店でどうぞ

お問い合わせは弊社担当営業もしくはサービスフロントの私、酒井までお問合わせください。もちろん、バッテリーやオルタネーターのご相談だけでなく、アルファロメオ・FIATに関するご相談は大歓迎です。是非一度お気軽にご連絡下さい。スタッフ一同お待ちしております。

アルファロメオ江戸川
サービスフロント

酒井 英朗

お客様とクルマを整備するメカニックへの橋渡しを担当するサービスフロントとして活躍。元来メカニックでもあったため、チューニングやメンテナンスなどへのアドバイスは的確。

フィアット江戸川・アルファロメオ江戸川
東京都江戸川区一之江2-7-9 TEL 03-3656-8989
営業時間 10:00~19:00 定休日 毎週月曜 http://www.alfa4u.jp